

宮城県気仙沼向洋高等学校 [全日制 (情報海洋科)]

☆ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県気仙沼向洋高等学校は、「尚志，創造，力行」を校訓とし，3年間の専門教育を通して，高い専門的な知識・技能を身に付け，多様な人々と協働できる社会性のある人材を育成するとともに，時代の変化に伴う諸問題の解決に向けて粘り強く挑戦し，地域社会の発展に寄与できる人材を育成する学校を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- 確実な基礎学力に支えられた高い専門的知識・技能の定着
- さまざまな考えを持った人々と共に働ける協調性・コミュニケーション力の育成
- 時代の変化に伴う地域社会の諸問題に主体的に挑戦する行動力と，その解決に向けて粘り強く取り組む強固な意志力の育成

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- (1) 電子・電気通信及び海洋に関する基本的な知識と専門分野の教育を体系的に組み合わせる。
- (2) 地域社会の発展に寄与できる人材を育成するため，類型別に専門的知識や技術を体系的に身に付ける。
- (3) 【海洋類型】
地域の海洋環境を生かし，海または水産動植物等の自然に親しみ，海洋資源を持続的に活用できる人材を育成する。
【情報電子類型】
地域の産業構造の変化や情報化，技術革新の進展に対応できる職業人を育成する。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- (1) 電子・情報・通信または海洋に関する学習に強い興味・関心があり，本校入学後は専門知識や技術・技能の習得と専門分野での就職や大学等への進学を目指す生徒
- (2) 教科以外の活動 (部活動，生徒会活動，課外活動，その他校内外での諸活動) にも積極的かつ意欲的に取り組もうとする生徒
- (3) 基本的な生活習慣が身に付いており，他者と望ましい人間関係を築こうとする生徒
- (4) 日々の授業を大事にし，基礎的・基本的な知識をしっかりと身に付けようと努力する生徒
- (5) 基礎学力が定着しており，専門知識を学びたい生徒

学校名	宮城県気仙沼向洋高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	情報海洋科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）	選抜順序	特色選抜 → 共通選抜	
	第2志望とすることができる学科・コース	産業経済科、機械技術科	
	共通選抜		
	募集人数	20人（募集定員の 50 %）	
	学力検査:調査書	5 : 5	
	学力検査点（500点満点）と調査書点（195点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は5 : 5とする。		
	特色選抜		
	募集人数	20人（募集定員の 50 %）	
	配点	1 調査書 390点 国語、数学、社会、英語、理科 : 全学年の評定を2.0倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を4.0倍にする	合計 890点
		2 学力検査 500点 国語、数学、社会、英語、理科 : 得点を1.0倍にする	
選抜方法	<ul style="list-style-type: none"> 審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する20人の120%の範囲に含まれる者（24人）を対象として行う。 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。 		
面接・実技・作文のうち実施するもの	なし		

社会人特別選抜	無
----------------	---

第二次募集（選抜方法等）	配点	1 調査書 195点 国語、数学、社会、英語、理科 : 全学年の評定を1.0倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする	合計 495点
		2 学力検査 300点 国語、数学、英語 : 各教科100点満点	
		3 面接 3段階評価（A～C） 1 形態：個人面接 2 時間：10分程度 3 内容：(1) 志望動機 (2) 中学校での活動状況 (3) 社会的関心 (4) 自己理解 4 観点：(1) 態度 (2) 表現力等	
	選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県気仙沼向洋高等学校 [全日制 (産業経済科)]

☆ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県気仙沼向洋高等学校は、「尚志，創造，力行」を校訓とし，3年間の専門教育を通して，高い専門的な知識・技能を身に付け，多様な人々と協働できる社会性のある人材を育成するとともに，時代の変化に伴う諸問題の解決に向けて粘り強く挑戦し，地域社会の発展に寄与できる人材を育成する学校を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- 確実な基礎学力に支えられた高い専門的知識・技能の定着
- さまざまな考えを持った人々と共に働ける協調性・コミュニケーション力の育成
- 時代の変化に伴う地域社会の諸問題に主体的に挑戦する行動力と，その解決に向けて粘り強く取り組む強固な意志力の育成

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- (1) 時代の変化に対応可能な人材育成を目指して，生徒一人一人が主体的にキャリア形成できるように，就職・進学に広く対応できる基礎学力を養う。
- (2) 普通教科との単位数のバランスを取り，水産科目と商業科目で生産から消費に到るプロセスを多角的に学習し，幅広い社会感覚を養う。
- (3) 地域産業との関わりに注目した広い視野を持ち，食を科学的に捉える力を養うために1年次より基礎的な知識技術を身に付ける。その上でアウトプット能力を高めることにより地域社会に貢献できる力を養う。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- (1) 食品や流通に関する学習に強い興味・関心があり，本校入学後は専門知識や技術・技能の習得と専門分野での就職や大学等への進学を目指す生徒
- (2) 教科以外の活動 (部活動，生徒会活動，課外活動，その他校内外での諸活動) にも積極的かつ意欲的に取り組もうとする生徒
- (3) 基本的な生活習慣が身に付いており，他者と望ましい人間関係を築こうとする生徒
- (4) 日々の授業を大事にし，基礎的・基本的な知識をしっかりと身に付けようと努力する生徒
- (5) 基礎学力が定着しており，専門知識を学びたい生徒

学校名	宮城県気仙沼向洋高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	産業経済科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）	選抜順序	特色選抜 → 共通選抜	
	第2志望とすることができる学科・コース	情報海洋科、機械技術科	
	共通選抜		
	募集人数	20人（募集定員の 50 %）	
	学力検査:調査書	5 : 5	
	学力検査点（500点満点）と調査書点（195点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は5 : 5とする。		
	特色選抜		
	募集人数	20人（募集定員の 50 %）	
	配点	1 調査書 390点 国語、数学、社会、英語、理科 : 全学年の評定を2.0倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を4.0倍にする	合計 890点
		2 学力検査 500点 国語、数学、社会、英語、理科 : 得点を1.0倍にする	
選抜方法	<ul style="list-style-type: none"> 審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する20人の120%の範囲に含まれる者（24人）を対象として行う。 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。 		
面接・実技・作文のうち実施するもの	なし		

社会人特別選抜	無
----------------	---

第二次募集（選抜方法等）	配点	1 調査書 195点 国語、数学、社会、英語、理科 : 全学年の評定を1.0倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする	合計 495点
		2 学力検査 300点 国語、数学、英語 : 各教科100点満点	
		3 面接 3段階評価（A～C） 1 形態：個人面接 2 時間：10分程度 3 内容：(1) 志望動機 (2) 中学校での活動状況 (3) 社会的関心 (4) 自己理解 4 観点：(1) 態度 (2) 表現力等	
	選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県気仙沼向洋高等学校 [全日制 (機械技術科)]

☆ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県気仙沼向洋高等学校は、「尚志，創造，力行」を校訓とし，3年間の専門教育を通して，高い専門的な知識・技能を身に付け，多様な人々と協働できる社会性のある人材を育成するとともに，時代の変化に伴う諸問題の解決に向けて粘り強く挑戦し，地域社会の発展に寄与できる人材を育成する学校を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- 確実な基礎学力に支えられた高い専門的知識・技能の定着
- さまざまな考えを持った人々と共に働ける協調性・コミュニケーション力の育成
- 時代の変化に伴う地域社会の諸問題に主体的に挑戦する行動力と，その解決に向けて粘り強く取り組む強固な意志力の育成

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- (1) 地域内外で活躍する工業人を育てるために，実技や体験を通して深い学びを目指す。
- (2) 2年次から類型選択により，探究的な学習を進め，地域連携・長期インターンシップ等を通して職業観を醸成し，課題解決能力の向上を目指す。
- (3) 「共通専門科目」：“基幹技術と先端技術の融合”をテーマにメカトロニクスを通して，様々な技術を体系的に学び，洞察し応用する力を養う。

【生産技術類型】

材料の成り立ちや加工技術，管理技術の学習によって，物理的・化学的な視点でものづくりを捉え，生産に対する技術・思考の深化を目指す。

【情報技術類型】

情報処理に欠かせないプログラミングやI o T，A I等の学習によって，コンピュータをハード・ソフト両面で捉え，情報処理に対する技術・思考の深化を目指す。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- (1) ロボット・機械・プログラミングなどのものづくりに強い興味・関心があり，本校入学後は専門知識や技術・技能の習得と専門分野での就職や大学等への進学を目指す生徒
- (2) 教科以外の活動 (部活動，生徒会活動，課外活動，その他校内外での諸活動) にも積極的かつ意欲的に取り組もうとする生徒
- (3) 基本的な生活習慣が身に付いており，他者と望ましい人間関係を築こうとする生徒
- (4) 日々の授業を大事にし，基礎的・基本的な知識をしっかりと身に付けようと努力する生徒
- (5) 基礎学力が定着しており，専門知識を学びたい生徒

学校名	宮城県気仙沼向洋高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	機械技術科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）	選抜順序	特色選抜 → 共通選抜		
	第2志望とすることができる学科・コース	情報海洋科、産業経済科		
	共通選抜			
	募集人数	20人（募集定員の 50 %）		
	学力検査:調査書	5 : 5		
	学力検査点（500点満点）と調査書点（195点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は5 : 5とする。			
	特色選抜			
	募集人数	20人（募集定員の 50 %）		
	配点	1 調査書	390点	合計 890点
		2 学力検査	500点	
選抜方法		<ul style="list-style-type: none"> ・ 審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する20人の120%の範囲に含まれる者（24人）を対象として行う。 ・ 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。 		
面接・実技・作文のうち実施するもの		なし		

社会人特別選抜	無
----------------	---

第二次募集（選抜方法等）	配点	1 調査書	195点	合計 495点
		2 学力検査	300点	
	選抜方法	国語、数学、社会、英語、理科 : 全学年の評定を1.0倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする		
		3 面接 3段階評価（A～C） 1 形態：個人面接 2 時間：10分程度 3 内容：(1) 志望動機 (2) 中学校での活動状況 (3) 社会的関心 (4) 自己理解 4 観点：(1) 態度 (2) 表現力等		